

特定非営利活動法人
生活者運動ネットワーク・サン
代表理事 杉野正幸雄さま

2011年11月15日
「週刊文春」編集長
島田 真

11月11日付け「週刊文春 11月3日号」特集記事『橋下徹 42歳 書かれなかった《血脈》』及び広告に関する、小社社長平尾隆弘、「週刊文春」編集長宛の抗議文、拝受いたしました。週刊文春の編集長・島田真から回答させていただきます。

小誌編集部は大阪府知事としての公人・橋下徹氏の政治姿勢や政治手法等について、継続的に取材・報道してまいりました。今回の特集記事もその一環で、国政選挙以上に注目を集める大阪市長選の候補者としての公人・橋下徹氏を取上げたものです。取材の過程で極めてセンシティブな情報も集まってまいりましたので、橋下氏ご自身の発言や公的な場で明らかにされている周知の情報を中心に、センシティブな情報には慎重に配慮しながら記事にいたしました。「被差別部落と暴力団を意図的に結び付ける」ことがないように配慮いたしましたし、「被差別部落出身者＝暴力団（ヤクザ）」という構図を作り上げる意図など全くありませんでした。また、新聞広告、車内吊り広告では差別を連想する表記をしておりません。

とはいえ、ご指摘のような感想を持たれた読者の方がいるとすれば、非常に遺憾で残念なことです。ご指摘を真摯に、重く受け止めたいと思っております。

すでに11月4日に部落解放同盟大阪府連合会から正式な抗議文をいただき、面談の上で事情を説明し、あらためて書面で正式回答させていただくことになっております。

今後とも、みなさまのご指摘を真摯に受け止め、差別を徒に助長することのない報道に配慮したいと考えております。ご理解のうえ、よろしくご指導、ご支援をいただければ幸いです。